



基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。

物忘れが気になるとき

病院長 木村 格



<春うらら>

お天気の良い朝、6号線を運転していると東からのやわらかな太陽の光に畑一面に広がった菜の花の鮮やかな黄色が風に揺られて光っています。病院構内の少し年をとった桜の樹々もこの時期になるとみな頑張っって豪華な桜花をプレゼントしてくれます。春の風に無数の花びらがひらひらと空を舞い、地面いっぱいにかわいい花びらの絨毯を広げます。万物が力に満ちて活躍するよい季節になりました。でも、時には人はこの急激な季節の環境変化に付いていけず、なんとなく眠気やだるさを感じられ、ちょっと憂鬱な気持ちになる季節でもあります。でも多くの場合、体が季節の変化にゆっくり順応してやがて症状はなくなります。

<物忘れかな>

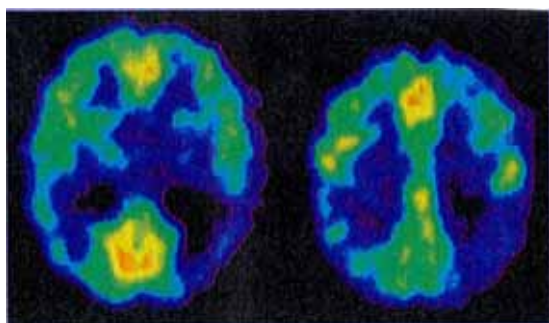
さて、どんな人でも年々年をとってきますと程度の差はありますが、物忘れが気になります。毎日の生活に決して困るほどではありませんが、正直に考えてみると人の名前や知っているはずの物の名前がスーと出てこない時があります。しばらくするとひょいと思い出します。いつもの場所に車の鍵がなくて焦ります。大切な物ほど奥の方に仕舞い込んで探しまわります。

これは脳の神経細胞が年々その数を減らし、貯えられた記憶の場所の働きが低下を始めているからです。記憶を出し入れする神経繊維の働きが鈍くなり始めています。これらの物忘れが余り心配のない、正常な脳の老化現象なのか、あるいは将来認知症の代表であるアルツハイマー病によるものか心配になります。



<物忘れ外来を利用して>

宮城病院には東北大学医学部高次脳機能障害講座の診療援助を受けて『物忘れ外来』を設置しています。物忘れが気になりだしたら、いたずらに心配をするのではなく、物忘れ外来や神経内科の外来を訪ねてください。



物忘れの原因となる病気をできるだけ早期に、正確に見つけ、それぞれの病気に対して最新の治療がなされます。詳細な脳の働きを即座に検査することができます。脳の細かな仕組みや脳血管の状態を検査するMRI、CTスキャン、脳循環や代謝機能の分布を検査するSPECT等によって物忘れの原因となっている病気を決めることができます。正確な診察と検査によって心配のないものであることが分れば、これからの人生を自信とゆとりを持って歩むことができます。豊かな人生を楽しむことができます。

第8回仙南カンファレンス開催

去る2月20日、当院2階大会議室において、「第八回仙南地域医療カンファレンス」が行われました。今回は、「リハビリ的摂食介助の手法」と題して、講師に白石市で開業なされている千木良デンタルクリニック副院長の千木良あき子先生をお招きして開催しました。先生は摂食・嚥下の分野で御活躍されており、ご自身のクリニックのみならず、施設や病院も訪問し、乳幼児や、摂食機能障害をもつ方やその親御さん、援助者に御指導されています。また、当院のあすなる病棟の患者さんもたいへんお世話になっております。



今回は高齢者や病気による後遺症により障害をもつようになった方々を援助するスタッフが多く参加するということを考慮していただき、日々欠かすことのない食事援助の場面が、患者さんの摂食機能の維持、向上につながるということについて、実例を通してわかりやすくお話しいただきました。また、食事場面が援助者側の都合で、患者さんにとって苦しいものになっているのではないかと「問いかけ」もあり、今一度、患者さんの立場にたった食事援助の重要性を再確認させられました。

摂食嚥下のお話は皆さんにとっても大変関心が高かったようで、院外から105名、合計131名という過去最高の参加者を記録しました。参加者の皆様からも好評で、機会があればもう一度きいてみたいと思う講演でした。

(地域医療連携室 鈴木 司)

医療マネジメント講習会



3月15日、国立病院寄港西別府病院長森照明先生をお迎えし、「医療マネジメントについて」の講演会が大会議室で開催されました。

森先生には、西別府病院での病院基本方針の再設定、意識改革、診療体制改革などの取り組みについて、大変貴重なお話をしていただき、どんなことでも一部だけで行わず、病院全体で取り組む事の大切さを改めて再確認し、今後の病院運営にとって、とても重要な講演となりました。

職場紹介 ~ あすなる3病棟 ~



『クルッ!クルッ!クル~とマッサージ~ みんなのかわいいお~なかあ~』のあすなる3病棟で~す。(看護研究発表にいた人にしかわからないフレーズですが・・・)朝このメロディーでオムツ交換が始まります。

当病棟は、病院の一番奥にある重症心身障害児(者)病棟です。スタッフは堀川先生を筆頭に看護師、看護助手、保育士、指導員の他職種が混在する、総勢25名の大所帯です。スタッフの平均年齢は不明(計算したことがない・・・?)。

在院されている方は、常時40名で在院期間は長い方で34年、短い方で7年という長期に療養を強いられている方々です。人生の大半をあすなる病棟で過ごしていると言っても過言ではないことは、この年数を見ただけでもご理解いただけるかと思えます。このようなみなさんへ、出来る限り安全安楽であることはもとより、快適な入院生活が送れるように全スタッフ一丸となって日々の療養介助に取り組んでおります。

いつも笑顔で!楽しく仕事ができる職場を目指し頑張っております!

(あすなる3病棟看護師長 丹野 くみ子)





昨年11月、還暦を迎えた。サラリーマンであれば定年退職して、第二の人生に入る。しかし開業医は自営業であり退職はない。家族には、“まだ元気だから暫らく働いて下さい”と期待される。いつまで働けばいいのか。一昨秋、仙南で80歳の先生が午前中診察し、午後息を引きとったそうです。正に開業医の鏡ではないか。

開業前は青森県の十和田市立中央病院に勤務していた。当時としては高給で仕事もさほど忙しくなく快適であり周囲は風光明媚であった。その頃3歳半を頭に3人の娘がいた。当地では高校から家を離れての通学を必要とした。当時仙台では駅周辺に宮城学院、白百合学園、三島学院などの女学校があった。自宅から列車通学できる場所に住めたらと考えた。そして縁あって25年前、亶理に開業することとなりました。私は新規開業でした。開業当時、亶理町の多くの方々に大変お世話になりました。25年経った現在、改めて心より感謝を申し上げます。

昭和57年5月に開業してすぐに亶理郡医師会総会があり、入会の挨拶をした。当時会長は山本精一先生でした。総会に斉源一郎先生、大友孝蔵先生、大友源次先生が参加されていたのが印象に残っている。

開業後直面した事は、2次救急医療を要する患者を紹介しなければならぬ事だった。幸い脳疾患に関しては宮城病院で診療いただき本当にお世話になりました。その後内科に渡辺先生、金田先生が着任されて更にいろいろとお世話になり又、御指導をうけました。当時、今は各地で教授に就任し活躍されておられる今井潤先生、齋藤喬雄先生、保嶋實先生、また小人症の権威である羽二生邦彦先生などの諸先生方がトランクにいらしたことを記憶いたしております。

開業後25年経過し医療環境が大きく変化した事を感じさせられる。従来の医療体制とのひずみが生じてきている。医師不足、医師の偏在、特に勤務医の問題として労働環境の悪化からの燃え尽き開業の増加、更には療養病床問題からの医療難民、介護難民といった多くの難しい問題が生じています。この厳しい状況の中、宮城病院では地域支援ベットの確保、更に5月からは「開放病床制度」を開始するなど地域医療を積極的に進めておられます。今後も宮城病院との連帯を密にして地域の人々の健康に役立つように努めていきたい。



熊谷内科医院のご紹介

診療科 / 内科、消化器科、循環器科、小児科
 住 所 / 〒989 - 2351
 宮城県亶理郡亶理町字中町東171 - 1
 TEL / 0223 - 34 - 5140

主な紹介医療機関 (平成18年4月~平成19年3月末日現在) ご紹介ありがとうございます

- ・松村クリニック (112件)
 - ・みやぎ県南中核病院 (58件)
 - ・公立相馬総合病院 (56件)
 - ・羽根田医院 (53件)
 - ・東北大学医学部附属病院 (35件)
 - ・平田外科医院 (79件)
 - ・金上病院 (56件)
 - ・渡辺病院 (54件)
 - ・青木神経科内科クリニック (38件)
 - ・独立行政法人国立病院機構西多賀病院 (33件)
- 上位10医療機関、他195医療機関からご紹介いただいております

生活習慣を見直そう ~ 高尿酸血症 ~ 看護部から

血液中の尿酸 7mg/dl を越えた状態を「高尿酸血症」といい、この状態が長く続くことで尿酸塩結晶が関節に沈着して起こる炎症が「痛風発作」です。1~2週間ほどおさまりますが、尿酸値を下げないと必ず再発します。放置すると痛風以外にも腎機能の低下・尿管結石・動脈硬化などの合併症を引き起こすことになります。

治療について



食事療法 毎日の新陳代謝の結果、細胞の核からプリン体がつくられます。これが尿酸のもとになります。プリン体は欧米的な食品に多く含まれますので肉類を好む人は尿酸値が高くなりやすい傾向があります。また、アルコールは尿酸値をあげる作用があるため控えましょう。



運動療法 肥満気味の方は痛風発作を起こしやすい傾向があります。適度に運動し肥満を解消しましょう。



薬物療法 痛風発作で痛みがひどい時は、痛み止めを処方します。また、尿酸の生成を押さえる薬、尿酸の排泄を促す薬など処方されます。

(副看護師長 後藤 尚子)

診療案内

平成19年4月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		佐藤 智彦	木村 格	木村 格	佐藤 智彦	仙台医療センター医師
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
神経内科	新 患	木村 格	菊池 昭夫	久永 欣哉	木村 格	大隅 悦子
	再 来	今井 尚志	今井 尚志	松本 有史	久永 欣哉	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科		未 定				
循環器科			安田 聡			
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午 前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午 後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
外科				小島 誠一 (13時から)		
脳神経外科		大友 智	安藤 肇史	大友 智	手術日	安藤 肇史
皮膚科					第4(木)のみ 東北大医師	
歯 科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	頭痛外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	脳ドック	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	A G A 外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5km^ポ イトの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

